

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス サンフラワー		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年2月 1日 ～ 2025年2月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して通うことができている	こども園や家庭へのお迎えを二人体制にし、安心して送り出せる、児の気持ちが必要所へ向くようにしている。	児童発達支援の通所曜日をある程度固定し、仲間意識が持て楽しみをもって通所できるようにして行く。
2	プログラムが固定されない様になっていること	1週間ごとにテーマを決めて、月曜日から金曜日まで活動が展開していく、場の経験が積みあがっていくことを狙いとしています。	月曜から順に展開していくように設定しているので、個々のペースに合わせて進むことも戻ることもできるように柔軟に対応したい。
3	非常災害に備え定期的に避難訓練を実施している	避難訓練だけでなく災害を実際に体験したからこそその訓練の仕方や情報の発信を心がけている。	低年齢の児童にも合わせた避難訓練を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会 保護者会や兄弟を誘っての企画	年に1～2度行っているが、児童発達支援の保護者に向けては4月にと考えていた。開催数が少ないのか。	簡単な催しや参観など双方に負担の少ないイベントの企画を考えていきたい。
2	定期的なお知らせ、子供の様子の発信の方法や期間	紙面で保護者に対しては配布しているが事業所全体であること	より成長が著しい児童発達支援サービスのみののお便利が必要なのではないか。発行の検討を行う。
3	個人へ障害理解 疾患に対する対応	支援者ここに寄っての対応の力量の差が大きいこと	特に男性職員は小さな児童の対応に戸惑うことは多いかもしれないが、保育士が積極的に児童発達支援の児童に関わるように業務を設定すること、戸惑う場合にはその要因の聞き取りをして研鑽できる場を設定する。